

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 1 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3493200020		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい青崎東		
所在地	〒735-0015 広島県安芸郡府中町青崎東7番1-5号 (電話) 082-581-8880		
自己評価作成日	令和1年12月9日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3493200020-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和1年12月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・新規職員向けのOJT制度と各ユニット毎のマニュアルを活用し、安心して働ける環境づくりに取り組んでいる。・地域の行事への参加とは別に、認知症カフェやいきいき100歳体操などの取り組みによってグループホームから地域へ情報を発信している。また、第20回グループホーム全国大会でこれらの取り組みの発表が優秀奨励賞を受賞し、新聞社の取材を受ける。・その人らしい生活を送ることができるように、本人やご家族の話を聞きながら利用者の生活歴の充実・それに応じた個別ケアに取り組んでいる。・看取りケアの充実のために、本人への好きなものの提供や食事形態の工夫、ご家族への情報提供やグリーフケアに取り組んでいる。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

経営理念の一つに、当法人が社会に対して果たす役割の中に、「人と社会の幸せに貢献する」事を掲げている。事業所がある同じ町の4グループホームが連携し、地域住民の交流を深めるために、定期的に100歳体操や地域食堂を開催し、貢献出来るよう努めている。また経営が医療法人のため、適切で手厚い医療及び介護が確保されている。職員を育てる取り組みに於いても、OJT制度（実務をする上で、必要となる知識やノウハウを学ぶ）を活用、法人内の「マイスター試験」や「介護の基礎問題の取り組み」等、資格試験の取得に積極的にバックアップを行い、人材育成と共に、介護サービスの質の向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	当法人は経営理念を各事業所に明示し、理念の達成に向けて当事業所のサービス方針及び事業計画を作成し、計画に基づいてサービスを提供するよう努めている。朝の申し送りでは経営理念の唱和を行い、常に理念を意識したケアを行うよう取り組んでいる。	事業所は理念に基づき方針を定め、利用者に寄り添い、地域と共に暮らせるまち作りを掲げ、実践に活かす取り組みがある。職員は事業所研修に参加し、ミーティングで話し合い、改善ノートを活用して、その人らしい暮らしが支援出来るよう繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会の回覧機能を活用させて頂き、行事への参加案内などの文章を作成して、配布して頂いている。今年度は、町内会主催の夏祭りとお祭りに参加させて頂き、地域の方々との交流を深めた。	ボランティアの受け入れも、ハーモニカ演奏会やフラダンス、昭和歌謡ショーなど長年に渡り来所して貰い、地域と途切れない交流が続いている。職員は地域との付き合いの大切さを理解し日々支援に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	実際に見学していただき地域の方々にグループホームでの生活、認知症ケアについて理解していただけるようにしている。また、グループホーム合同での月に1回の認知症カフェ・いきいき100歳体操の開催で地域の方に向けた認知症についての周知活動を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長や民生委員の方にもご出席いただき運営推進会議におけるサービス評価の機能を活用できるように努めている。会議で頂いた意見などは日常のサービスに反映するように努め、疑問点や相談を随時お答えし連携を深めている。	会議は事業所の運営状況等、報告や説明が行われ、住民からは地域の情報を聞く事が出来ている。更には市町の担当者や地域包括支援センター等も参加し、その時期にあったアドバイスを始め、アイデア、意見交換が行われ、サービスの向上に努めている。	会議は、貴重な意見交換が行われており、年に1度、家族会に出席した家族には報告を行っている。今後は欠席家族へ、議事録を送付するなど、更なる取り組みに期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	町役場への各種報告書類や直接訪問して提出し、担当者とのコミュニケーションの確保に努めている。町担当課の皆様には、事業所のPRや町広報誌への掲載、町主催の福祉ボランティア制度の参加などボランティア受け入れにもご助力いただいている。	市町の担当者とは、日頃より密に連携を取っている。町の建物で定期的に、高齢者の介護予防を目的とした「100歳体操」や「茶飲み処椿」で、他のグループホームと連携し、活動の一端を担っている。今後も地域に貢献出来る様、取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内研修を通して、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為について理解を深め、身体拘束廃止をきっかけに「よりよいケア」の実現に取り組みと、ケア全体の向上や生活環境の改善に努めている。	身体拘束をしないケアは、職員は法人内研修や、それを基に伝達講習を行い把握している。例えば帰宅願望の利用者には、心のケアから始めている。センサーは必要時に使用するが、自由と安全のバランスに考慮し使用している。言葉による拘束にも気を配り支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている。	法人内研修を実施し、全職員が高齢者虐待防止などはあってはならないとの意識を有しており、日常的に意図して業務に従事している。ご入居者様のペースに合わせ、寄り添ったケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度の対象となる入居者様がおられるが、全ての職員が、権利擁護に関する制度について認識できているという状況にはない。今後は、ご家族など関係者と連携し必要とする制度利用について支援に努めたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書及び契約書、各種同意書を掲示し、具体的に説明するよう努めている。ご入居者及びそのご家族等関係者からの不安や疑問点などは、可能な限り不安等を解消し、安心して入居していただけるよう適切な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会については、本年度の報告を含め3月の開催を計画している。ご家族面会時及び月一回のご連絡時には、ご入居者の状態報告に併せて、ご家族のご意向等をお聞きするよう努めている。契約時に重要事項説明書を掲示し、外部の相談・苦情窓口の説明を行い、職員の情報共有に努めている。	来所時に意見を求める機会は設けている。例えば頻繁に来所される家族から、月単位での行事予定の掲示の要望に答え、事業所は速やかに、リビングルームの壁に張り出し、意見を反映している。また事業所は、運営推進会議や手紙等で、身近な出来事を知らせている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	リーダー会議及びユニットミーティング開催時に管理者が出席し、職員の意見等を聞いて必要の都度、運営に反映するよう努めている。 全職員が事業所の運営に対して率直に意見を述べられるように、面談や日々の業務の中で積極的に話を聞き、意見を言える場を作っている。	職員からの意見は、様々な場面で行っている。環境の整備や業務改善等の意見を聞き、例えばエアコンや火災報知器の不具合を改善してもらう等、職員からの要望が有れば、必要に応じて反映させている。また資格取得、研修の機会も設け、働きやすい環境を作る体制を整えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者は、統括責任者と密に報告・連絡・相談を行いながら職員の意見なども聞き、日常的に職員のモチベーションが維持できるよう個別的に話を聞くなどの配慮に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人及び事業所が、年間研修企画を作成し、計画的に内部研修を実施している。必要に応じて研修も実施されており、事例検討などより具体的な知識・技術に努めている。また、法人が職員個別の研修費を予算化しており、職員が自らの目標を意図した外部研修に出席している。毎年1回、マイスター試験を実施し、スキルアップに対する意欲の維持・向上を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	町主催の関係者協議会へ出席し、信頼関係の構築に努めている。また、月一回の府中町グループホーム連絡会議を行い連携に努め、毎月合同で認知症カフェやいきいき100歳体操の開催、合同行事や職員の交換研修を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面談時は施設管理者、ケアマネジャー、訪問看護師で伺い不安な事を伺い安心して入居して頂けるように努めている。また、職員全員で生活歴や大切にしてきたことを共有し、信頼関係が築けるように対応している。ご家族などの面会があった際にも支援につながる情報収集ができるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居後のご様子については、面会時や電話で状況を説明したり、ご家族自身の不安なことを聞き信頼関係を築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人と御家族が望むことがあれば共に考え、それらに添えるように努力すると共に現段階で何を必要としているかは判断し相談など行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人格を尊重して共に生活をする視点を忘れず、接遇にも十分配慮している。ご本人の生活習慣を把握し、日々の生活のなかで取り組まれるように支援している。また、本人の得意なことを見つけ出し、役割提供として生活の中で取り組んでいただいている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会や電話の際には日々の様子をお伝えするように努めている。また、家族様より質問や相談などに対応できるように努めている。話易い環境を作れるようにこちらより積極的にコミュニケーションをとるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御本人が大切にして来られた方々の面会時には会話を支援するなど、継続的にご面会を頂けるような雰囲気作りに努めている。面会に来所された方が、また来所したいと感じていただける関係作りに努めている。また、個別ケアとして馴染みの場所へ外出できるよう支援している。	職員は入居時に話を聞いたり、毎日の生活歴を通して希望を把握し、関係継続に努めている。例えば家族と共に、法事でお寺に行ったり、盆や正月に自宅に出掛けている。また地域住民のボランティア（歌謡ショー、フラダンス、ハーモニカ演奏）が訪れ馴染みの関係がある。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	御利用者の個別性に配慮しながら、日常生活の中に御利用者同士が共同して取り組める体操や役割提供を配分し、コミュニケーションを取っていただけるような環境づくりを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去される際には、共に過ごした日々の様子を記録したアルバムを手渡して、気軽に立ち寄って頂くよう話をしている。次の生活場所の支援者に対する適切な情報提供など、必要に応じて可能な限り協力に努める。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御利用者によっては、職員一人ひとりに対する訴えも異なることがある。為、あらゆる場面を想定して日々の記録の共有に努めている。	利用者の日頃の暮らしや生活歴を把握し、職員は出勤時必ず、利用者一人ひとりと握手を行い、健康管理等気付きを共有し快適な暮らしを支えている。また希望を叶える事が困難な場合は、ケース記録や改善ノートを参考に、出来る限り希望に近づけるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御本人及び御家族等関係者から、ご本人の生活史や生活環境などの情報をできるだけ詳細にお聴きして、ご入居者の暮らし方にあった生活作りに取り組んでいる。また、アセスメント表に入居前にご家族に生活史や馴染みの環境について、できるだけ詳細に記載いただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人ひとりが把握した情報は、記録・申し送りにより職員間で情報を共有し、御利用者の現状を総合的に把握するように努めている。当法人で取り組んでいる「握手」をすることで表情、手の力の入り具合などから体調に変化がないか考え、報告・連絡・相談を怠らないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	当事業所ではケアプラン担当制をとっており、担当者は他の職員の意見も合わせて、ご本人の生活課題と適切な支援のあり方を具体的に介護計画書に記載している。担当者が作成した計画書をカンファレンスで話し合い、それぞれの意見を反映させている。	月1回のモニタリングは、前回行ったアセスメントを見直し、必要な関係者が現状に即した、きめ細やかな介護計画を作成している。又、事業所独自の取り組みとして、ケアマネージャーが新任職員に個別に、ケアプラン作成のためのアドバイスをを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活状況やケア内容などは個別記録に細かく記載し、職員は引継ぎや記録により、ご入居者個別の情報の共有に努めている。また、記載されていることに日々のケア場面で取り組むことにより多くのことに気付くことができ、そのような内容を評価し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御本人・御家族から、相談などがあった場合には、必要の都度、法人内外の事業所と連携をとりながら、可能な限り要望にお応えできるように努めている。外出・外泊時には、同伴者への適切な介助方法の伝達や福祉用具の貸し出し等の配慮に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内会のご協力もあり、町内行事には出来るだけ参加させて頂いている。また、買い物に行く際には、御本人の体調を考慮し無理のない範囲で職員と一緒にスーパー等へ出向いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	1月に2回、法人内のクリニック医師の往診を受けて頂いている。体調に変化が発生した場合は、その都度、訪問看護師を通じて主治医に状態報告しており、指示ある場合は、速やかに受診助などの対応に努めている。また、ご家族の不安などについては、必要に応じて直接主治医より説明をさせて頂いている。	利用者は母体である医療機関での受診をしているが、家族の協力で以前からの、かかりつけ医の受診もある。受診は定期的に行われ、訪問看護と連携を取りながら支援しており、家族の安心に繋がっている。必要に応じて協力歯科医も来診し、他科受診も対応している。	

自己評価	外部評価	項 目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師が定期的に来所し、御利用者の状態観察及び医学的処置など、必要に応じて行っている。 ご入居者の体調に変化が生じた場合は、休日・夜間を問わず看護師に報告・相談し、必要の都度、受診介助などの対応に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御利用者が入院された際には、可能な限り面会して病院スタッフからの情報収集に努めている。 入院予定期間が急遽早まるなどの状況にも柔軟に対応するよう努めている。また、協力医療機関以外の相談員、病棟師長などスタッフとの連携も大切にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時に重度化した場合や看取りに関する意向を確認している。 看取りに関する指針を整備し、必要に応じて、指針に基づいて適切に対応するよう努めている。本人の身体状況の変化に伴い、早い段階から家族などにも説明を行い同意を得るようにしている。	職員の多くは看取りの経験がある。入所時に家族への説明は行われ、重度化した場合改めて家族と話し合いを行い同意書を交わし、方針を共有しながら支援している。職員は研修や話し合いを行い、家族に寄り添いチームで支援出来るよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	法人内研修に参加するなど事故発生時に備えてスキルの向上に努めている。また、事故発生時には、その都度必ず記録に残し、原因とその発生時の状況・対策について職員全員で再認識するようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災については、消防訓練を企画し訓練を行う。府中町消防局の職員の協力も頂き、消火器訓練を実施している。災害などの対策についても日々地域の方々との連携をとりながら支援を頂くようにしている。また、災害時応援協定に基づき地域との訓練も行っている。	同事業所は地域の訓練場所として提供し、町内会の自衛防災訓練は、多くの地域住民と共に訓練を行っている。また地域とも災害協定を結んでおり、備蓄も確保している。職員は定期的に研修を受けている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	御利用者への尊厳に配慮した接遇には、充分配慮して接している。敬語を基本とし傾聴から入り受容を行う。その時々によって言葉でのコミュニケーションはもちろん、ジェスチャーや表情でのコミュニケーションなど、一人ひとりにあった接し方にて対応している。	利用者の生活歴を把握し、職員は情報を共有しながらケアしている。例えば入浴時、希望があれば同性介助する事で、プライバシーを守る等対応している。職員は接遇、権利関係(記録の書き方)等の研修に参加したり、伝達講習や回覧を通じて支援に繋げている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	何かを決めるときは必ずその有無を確認し対応している。 行動ひとつに対して、まずご本人様の了承、了解を得て誘導している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	御利用者の生活リズムに合わせて、安全確認した上、一人ひとりご自由に過ごして頂いている。 全ての行動に声掛けをするのではなく、見守りという形で支援することもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月1回訪問理・美容サービス業者に来所頂き、ご本人の希望に応じて、カット・毛染め・パーマなどの対応を頂いている。 誕生日プレゼントでも、日々の会話で本人の嗜好を把握し、嗜好に合ったものを職員が選び、贈っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の献立では、肉類を好まない方には別な副菜を考慮するなど一人ひとりの嗜好に合った献立を立案している。食材切り、テーブル拭き、配膳など職員と共に準備している。自発的行動もあり役割が出来ている。食事が進まない場合は一旦下膳し、本人の好きなものを提供している。	日常は配食を利用しているが、その人に合ったメニューや味の工夫もされている。テーブルの配置や高さ等も、個々に合ったものが使用されている。時にはレストハウスの昼食に出掛け、夏祭りの夜店で軽食を楽しんだり、買いに出掛ける等、職員は工夫しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	本人様の食事量、栄養状態などを把握し、食事量が減少している場合はその方が食べやすい献立の工夫に努めている。消化が良くない方については、普通米ではなくおかゆを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔ケアについては、毎食後に行うよう徹底している。また、義歯使用のご入居者には定期的にポリデントを使用し義歯洗浄に努めている。口腔スポンジ、口腔用シートを使用し確実な清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	布パンツ、紙パンツを使用して頂き、オムツの使用はオムツはできるだけ避けている。また、トイレでの排泄に努力している。ファンレストテーブルの導入により、トイレでの排泄が促進されている。	トイレは男性トイレを含め5か所有する。スタッフは平素、利用者の排泄パターンを記録に取り、必要時には便も確認し取り組んでいる。更に前傾姿勢保持テーブルを使用し、その人の残存能力を少し助ける事で、排泄の自立に向け工夫を重ね、情報を共有し支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	可能な限り水分、食事を摂取して頂く、そして体操・散歩をして体を動かすことでほぼ便秘の方は減少している。食物繊維を多く含む食材を使用して調理している。また、排便コントロールとして、個々の排便リズムを把握した上、内服薬でも調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	御利用者の意思を尊重し、体調や気分配慮して入浴して頂いている。同性介助など職員との関係性も配慮して出来るだけ気持ちの良い入浴時間となるように努めている。着替えの選択時や、入浴時にも職員と一緒に会話を楽しんでいただいている。	入浴は週2～3回で、利用者の希望に合わせて、車いすの利用者にはファンムーブ(入浴用車いす)を使用し、快適な入浴が出来るよう心掛けている。困難な場合には、声掛けを行いタイミングが合えば、入浴して貰う等工夫しながら支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>御利用者の生活習慣や体力に 応じて、いつでも居室やリビング で休まれるよう配慮している。自 立されていない方には傾眠状態 時などソファへ座って休んでい ただいたり、臥床スペースとして も活用している。本人に合った クッションやタオルケットも使 用し休んでいただいている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>内服薬に変更があった場合には 職員が把握できるように記録に 残している。効能についても理 解できるように効能書をファイル に閉じている。変化があれば、 その都度、主治医、看護師に報 告し対応している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>洗濯物を干したり、畳んで頂い たり、掃除などそれぞれ役割を 持ち行動していただけるように 努めている。アクティビティー 、散歩、野菜収穫など外の空 気を吸うことで季節を感じてい ただいたり気分転換を図ってい る。得意としている作品作り していただきフロア内に展示し ている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>日常的な支援では、毎日の買い 物の付き添い、近場の公園など に散歩へ出かける。家族にも声 をかけさせていただき、家族支 援もあるなか外出している。地 域の行事にも積極的に参加して 楽しまれている。個別での好ま れる場所への外出を支援してい る。</p>	<p>利用者の状態を考慮し、外出の タイミングを計っている。日頃 は近くに買い物や散歩に出掛 ける事もある。また少し離れた 場所の広島市緑化センターに、 春は花見、秋は紅葉狩りの計 画を立て、季節に応じてドライ ブを楽しむ等支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>御利用者のお金の管理にしては 、紛失しないように細心の注意 を図っている。御本人と話をさ せて頂きながらお金を持つこと の大切さや、紛失しないための 管理方法などを理解して頂き、 お金の使うことに関しては、職 員が同行のもと、使用できる ように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族等の事情に配慮しながら、御本人からの電話を支援したり、先方から電話がある際にはご本人に取り次いでいる。毎年、年賀状を送っており、コメントを書いていただいたり、拇印を押したりと本人様のメッセージを伝えられるようにしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ラジオやTVを流すだけでなく、民謡や懐かしの歌などを流している。	職員は毎日、共用部分を丁寧に清掃している。衛生面にも気配りし、手洗いは小まめに行われている。リビングには誕生日毎に、その季節に合ったカードへ、利用者の名前を書き掲示している。またテーブルやイスの配置を工夫し、居心地よく暮らせるよう支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有スペースのリビングにはソファを設置し、御利用者のくつろげる空間の確保に努めている。安全に配慮した上で、机のレイアウト、気の合ったご入居者と談話できるように席の配置にも工夫を行っている。リビングとトイレの位置関係など利用者の状態変化に合わせて変更を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	御利用者のなじみのある使い慣れた家具や調度品類、絵画、写真などをご持参頂いている。安全面には十分配慮し、入居者自身の在宅での生活の雰囲気作りに努めている。	居室は、キッチンを中心にL字に位置し手作りの名札は、その人の好みの物が、職員や家族の協力を取り付けられている。ベットや家具は使い慣れた物を使用している。例えば正座が好きな利用者は、部屋に薄い畳を敷き、居心地よく過ごせるよう、支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	身体面では一人ひとりの今ある力が十分に発揮でき、自由に行動できるよう、動線上の障害物には配慮し可能な限り、広々とした空間が維持できるように努めている。		

V アウトカム項目(Aユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	当法人は経営理念を各事業所に明示し、理念の達成に向けて当事業所のサービス方針及び事業計画を作成し、計画に基づいてサービスを提供するよう努めている。朝の申し送りでは経営理念の唱和を行い、常に理念を意識したケアを行うよう取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会の回覧機能を活用させて頂き、行事への参加案内などの文章を作成して、配布して頂いている。 今年度は、町内会主催の夏祭りとお祭りに参加させて頂き、地域の方々と交流を深めた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	実際に見学していただき地域の方々にグループホームでの生活、認知症ケアについて理解していただけるようにしている。 また、グループホーム合同での月に1回の認知症カフェ・いきいき100歳体操の開催で地域の方に向けた認知症についての周知活動を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長や民生委員の方にもご出席いただき運営推進会議におけるサービス評価の機能を活用できるように努めている。 会議で頂いた意見などは日常のサービスに反映するように努め、疑問点や相談を随時お答えし連携を深めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	町役場への各種報告書類や直接訪問して提出し、担当者とのコミュニケーションの確保に努めている。 町担当課の皆様には、事業所のPRや町広報誌への掲載、町主催の福祉ボランティア制度の参加などボランティア受け入れにもご助力いただいている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内研修を通して、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為について理解を深め、身体拘束廃止をきっかけに「よりよいケア」の実現に取り組みと、ケア全体の向上や生活環境の改善に努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人内研修を実施し、全職員が高齢者虐待防止などはあってはならないとの意識を有しており、日常的に意図して業務に従事している。 ご入居者様のペースに合わせ、寄り添ったケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度の対象となる入居者様がおられるが、全ての職員が、権利擁護に関する制度について認識できているという状況にはない。今後は、ご家族など関係者と連携し必要とする制度利用について支援に努めたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書及び契約書、各種同意書を掲示し、具体的に説明するよう努めている。ご入居者及びそのご家族等関係者からの不安や疑問点などは、可能な限り不安等を解消し、安心して入居していただけるよう適切な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会については、本年度の報告を含め3月の開催を計画している。 ご家族面会時及び月一回のご連絡時には、ご入居者の状態報告に併せて、ご家族のご意向等をお聞きするよう努めている。契約時に重要事項説明書を掲示し、外部の相談・苦情窓口の説明を行い、職員の情報共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	リーダー会議及びユニットミーティング開催時に管理者が出席し、職員の意見等を聞いて必要の都度、運営に反映するよう努めている。 全職員が事業所の運営に対して率直に意見を述べられるように、面談や日々の業務の中で積極的に話を聞き、意見を言える場を作っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者は、統括責任者と密に報告・連絡・相談を行いながら職員の意見なども聞き、日常的に職員のモチベーションが維持できるように個別的に話を聞くなどの配慮に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人及び事業所が、年間研修企画を作成し、計画的に内部研修を実施している。必要に応じて研修も実施されており、事例検討などより具体的な知識・技術に努めている。また、法人が職員個別の研修費を予算化しており、職員が自らの目標を意図した外部研修に出席している。毎年1回、マイスター試験を実施し、スキルアップに対する意欲の維持・向上を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	町主催の関係者協議会へ出席し、信頼関係の構築に努めている。また、月一回の府中町GH連絡会議を行い連携に努め、毎月合同で認知症カフェやいきいき100歳体操の開催、合同行事や職員の交換研修を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面談時は施設管理者、ケアマネジャー、訪問看護師で伺い不安な事を伺い安心して入居して頂けるように努めている。また、職員全員で生活歴や大切にしてきたことを共有し、信頼関係が築けるように対応している。ご家族などの面会があった際にも支援につながる情報収集ができるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居後のご様子については、面会時や電話で状況を説明したり、ご家族自身の不安なことを聞き信頼関係を築けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>御本人と御家族が望むことがあれば共に考え、それらに添えるように努力すると共に現段階で何を必要としているかは判断し相談など行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>人格を尊重して共に生活をする視点を忘れず、接遇にも十分配慮している。ご本人の生活習慣を把握し、日々の生活のなかで取り組まれるように支援している。また、本人の得意なことを見つけ出し、役割提供として生活の中で取り組んでいただいている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会や電話の際には日々の様子をお伝えするように努めている。また、家族様より質問や相談などに対応できるように努めている。話易い環境を作れるようにこちらより積極的にコミュニケーションをとるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>御本人が大切にして来られた方々の面会時には会話を支援するなど、継続的にご面会を頂けるような雰囲気作りに努めている。面会に来所された方が、また来所したいと感じていただける関係作りに努めている。また、個別ケアとして馴染みの場所へ外出できるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	御利用者の個別性に配慮しながら、日常生活の中に御利用者同士が共同して取り組める体操や役割提供を配分し、コミュニケーションを取っていただけるような環境づくりを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去される際には、共に過ごした日々様子を記録したアルバムを手渡して、気軽に立ち寄って頂くよう話をしている。次の生活場所の支援者に対する適切な情報提供など、必要に応じて可能な限り協力に努める。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御利用者によっては、職員一人ひとりに対する訴えも異なることがある為、あらゆる場面を想定して日々の記録の共有に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御本人及び御家族等関係者から、ご本人の生活史や生活環境などの情報をできるだけ詳細にお聴きして、ご入居者の暮らし方にあった生活作りに取り組んでいる。また、アセスメント表に入居前にご家族に生活史や馴染みの環境について、できるだけ詳細に記載いただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人ひとりが把握した情報は、記録・申し送りにより職員間で情報を共有し、御利用者の現状を総合的に把握するように努めている。当法人で取り組んでいる「握手」をすることで表情、手の力の入り具合などから体調に変化がないか考え、報告・連絡・相談を怠らないようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>当事業所ではケアプラン担当制をとっており、担当者は他の職員の意見も合わせて、ご本人の生活課題と適切な支援のあり方を具体的に介護計画書に記載している。担当者が作成した計画書をカンファレンスで話し合い、それぞれの意見を反映させている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活状況やケア内容などは個別記録に細かく記載し、職員は引継ぎや記録により、ご入居者個別の情報の共有に努めている。また、記載されていることに日々のケア場面で取り組むことにより多くのことに気付くことができ、そのような内容を評価し介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>御本人・御家族から、相談などがあった場合には、必要の都度、法人内外の事業所と連携をとりながら、可能な限り要望にお応えできるように努めている。 外出・外泊時には、同伴者への適切な介助方法の伝達や福祉用具の貸し出し等の配慮に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内会のご協力もあり、町内行事には出来るだけ参加させて頂いている。また、買い物に行く際には、御本人の体調を考慮し無理のない範囲で職員と一緒にスーパー等へ出向いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>1月に2回、法人内のクリニック医師の往診を受けて頂いている。体調に変化が発生した場合は、その都度、訪問看護師を通じて主治医に状態報告しており、指示ある場合は、速やかに受診介助などの対応に努めている。また、ご家族の不安などについては、必要に応じて直接主治医より説明をして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師が定期的に来所し、御利用者の状態観察及び医学的処置など、必要に応じて行っている。 ご入居者の体調に変化が生じた場合は、休日・夜間を問わず看護師に報告・相談し、必要の都度、受診介助などの対応に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御利用者が入院された際には、可能な限り面会して病院スタッフからの情報収集に努めている。 入院予定期間が急遽早まるなどの状況にも柔軟に対応するよう努めている。 また、協力医療機関以外の相談員、病棟師長などスタッフとの連携も大切にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時に重度化した場合や看取りに関する意向を確認している。 看取りに関する指針を整備し、必要に応じて、指針に基づいて適切に対応するように努めている。本人の身体状況の変化に伴い、早い段階から家族などにも説明を行い同意を得るようにしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	法人内研修に参加するなど事故発生時に備えてスキルの向上に努めている。 また、事故発生時には、その都度必ず記録に残し、原因とその発生時の状況・対策について職員全員で再認識するようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災、地震については、消防訓練を企画し訓練を行う。府中町消防局の職員の協力も頂き、消火器訓練を実施している。 災害などの対策についても日々地域の方々との連携をとりながら支援を頂くようにしている。 また、災害時応援協定に基づき地域との訓練も行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	御本人様の思いに寄り添い、傾聴・受容し安心した生きがいある生活が送れるよう努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	御本人様に合わせたコミュニケーション・スキンシップにより信頼関係が構築でき、なるべく自らの訴えができる居心地の良い環境・居場所作りを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食べたい時には食べる、寝たい時には寝る。また、家事手伝い、散歩に行くなどその方にあった生活が送れるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入浴、整容などで清潔保持に努め、いつでも細かいところまで気づき対応する。誕生日に担当職員がその方に合った服等をプレゼントすることもある。衣類の劣化等が見られた場合はご家族に相談し新しいものを揃えていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事については配送をお願いしているが、少しでもおいしく食べられるように本人に合った食事形態を考え統一し提供している。家事手伝いのできる方には一緒に行っていただいている。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食品業者を利用し、栄養バランスに考慮した献立を提供している。本人の体重に合わせた水分量の目安を決め、好まれる飲料も提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食後に行う習慣ができています。なるべくご自身でして頂き、磨き残しがないかなど確認を行うようにしている。 また、口腔内にトラブルが生じた場合は歯科往診時医師に相談するなど早急な対応に努めている。 歯ブラシだけでなく、口腔スポンジも活用し清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>御利用者一人ひとりの排泄のタイミングを把握することで、失敗を軽減し不快に思うことのない排泄を行えるよう支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>牛乳・ヨーグルトなどの乳製品を摂取していただくことで、下剤に頼ることなく自然に排泄できるよう努めている。また、蠕動運動を促すよう、体操や散歩を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴を拒否される方には無理強いせず、時間や日にちを調整し、御本人様が入浴したいと思われるタイミングを見計らい、気分良く入浴して頂けるように工夫している。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	気温に合わせてエアコンや加湿器 を使用して体調管理に注意してい る。また、起きる、寝るのメリハ リを個々に合わせ声かけをしてい る。一人ひとりのリズムを把握、 共有した上対応している。 心身共にリラックスできるように 寝返り介助、徐圧等もご本人様 に負担のないよう行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	月に2回の訪問診療にて変更が あった場合には記録にて周知し ている。医療職へのこまめな情 報共有とともに、利用者の日々 の様子・変化に目を配り早期 発見に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	生活歴や日々の様子、会話の中 から思いを汲みとり、ケアプラ ン等につなげている。受け身で はなく自発的行動のきっかけ作 りを意識し取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。	紅葉狩りや花見などの外出行事 計画を立案し、実行している。 御本人や御家族の思い出の場 所や行きたいところに出かける られるよう普段から情報収集 している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	御利用者のお金の管理にしては 、紛失しないように細心の注意 を払っている。ご本人と話をさ せて頂きながらお金を持つこと の大切さや、紛失しないための 管理方法などを理解して頂き、 お金の使うことに関しては、職 員が同行のもと、購入できる ように支援している。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>年賀状を毎年ご家族へ送っている。可能な方には自筆でコメントを書いている。馴染みの方からの電話など、面会以外での交流ができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>食事の席の固定など混乱なく落ち着いた生活が送れるように配慮しつつ、状態変化に合わせた環境整備も行っている。温度や湿度にも気を配り、冬場は加湿器を常備している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有スペースにはソファを設置し、談笑する場を作っている。外にはベンチを置き、ゆったり過ごせる空間を作っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居される際は、御本人様のなじみのあるものを準備いただき、自宅の部屋をイメージしてレイアウトも行うようにしている。 ご本人様が望むように心地よい環境を共に作っていく。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>なるべく出来ることは御本人にして頂き、ADLの低下を防ぐ。また、主役、誰かのためなど、生きがいあるそして活気ある生活が送れるようできること、得意なことをそれぞれ行っている。共に考え、それを形にできるよう努めている。</p>		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい青崎東

作成日 令和2年2月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の情報公開が充分でない。	会議の内容を全家族へ周知することで、活動内容や運営状況をお伝えし、安心して頂く。	家族会での発表以外に2か月に1度、運営会議の議事録を家族様に送付する。	3か月以内
2	10	家族の意見が運営にあまり反映出来ていない。	御利用者と家族の意向を尊重し、御利用者と家族が満足する運営を目指す。	電話による近況報告や家族会、運営推進会議の際に家族の意向をリサーチする。	3か月以内
3	11	不定期なミーティングと業務改善ノートでの周知が主になっている。	職員の意見が反映され、働きやすい環境作りを進める。	定期ミーティングの他に個人面談の際に意見を聞き出し、運営に反映していく。	3か月以内
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。